

知っていますか？物流の2024年問題



物流の2024年問題とは

2024年4月にトラックドライバーなど自動車運転業務の長時間労働の改善に向け、時間外労働の上限規制(年間960時間)が適用されたことにより輸送能力が低下し、物流の停滞が危惧されています。

何もせずに放置すると輸送能力が2024年度には約14%不足し、2030年度には約34%不足すると推計(国土交通省)され、これまでどおり荷物が運べなくなる恐れがあります。



荷物が当たり前前に届かなくなるかも!!

近年、多様化するライフスタイルとともに通信販売、特にインターネットを利用した通信販売(電子商取引)が急速に拡大しています。宅配便の取扱個数の増加に伴って再配達も増えることにより、今までの宅配サービスが受けられない可能性があります。

データで分かる宅配便の現状

(出典:国土交通省)



■ 宅配便の取扱個数

2020(令和2)年度 約48.4億個



2021(令和3)年度 約49.5億個



2022(令和4)年度 **約50.1億個**



■ 宅配便の再配達率は**約11.1%**

■ 宅配業者再配達のドライバーの労働力は**年間約6万人分に相当**

■ 再配達のトラックからの**二酸化炭素(CO₂)の排出量は年間約25.4万トン***

※約8.8万世帯の年間CO₂排出量に相当



良いことたくさんあるマル!

宅配便の再配達削減は荷物の遅延防止だけでなく、ドライバーの負担軽減や環境負荷の軽減にもつながります!

宅配便の再配達削減が必要!!

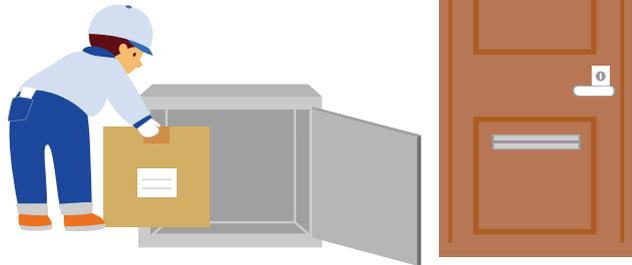


荷物を1回で受け取りましょう!!

消費者一人ひとりにできること

●置き配を利用する

宅配ボックスや
宅配ロッカーなどの利用



●コンビニ等で受け取る

コンビニや
街なかにある宅配ロッカー、
宅配業者の営業所などの活用



●ゆとりある配送日時を指定する

日時指定が可能な場合は、確実に受け取れる日時や場所を指定



受け取り方法は
色々あるマル!

利用条件
などは各宅配
業者へ確認して
ほしいマル!

